社会福祉法人 太田福祉記念会 令和６年度事業報告

誓 い の 言 葉

一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

理念「誓いの言葉」を活動の基本に据え、地域住民から信頼される法人であり続けるための活動の焦点を「戦略的重点項目の三本の柱」として集約。取り組む方向を全職員に示し、感染対策を徹底しながら事業を実施した。

①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
②地域福祉からのまちづくり参画
③計画的財務管理による健全経営の維持

［1］令和６年度重点事業プラン

◎経営戦術基本方針

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」
「地域貢献事業の企画・実施」
「新興・再興感染症への対応力向上」

１．生産性を高める業務効率化の推進

（1）一部事業の再編

① あたみホームの地域密着型介護老人福祉施設・ユニット型個室６床を令和６年８月から休止した。更に広域型転換や廃止も視野に事業再編の研究を継続中。

② 太田デイサービスセンターの通常規模型（定員 30 名/日）を、令和７年４月から地域密着型（定員 18 名/日）に移行した。

③ 太田玉川デイサービスセンターの認知症対応型（定員 12 名/日）を休止し、通常規模型（定員 25 名/日）の営業を継続中。更に廃止も視野に事業再編の研究を継続中。

④ 湖南地区地域包括支援センター（郡山市委託事業）は、専門職の配置が困難となったため、令和７年度以降の事業受託を辞退した。

（2）インターネットバンキングの活用

① データ送信による振込手数料の節減
節減額（年間） 給与振込分：約 120,000 円、業者支払分：約 230,000 円

② 利用料口座振替の積極的勧奨による集金事務の効率化と現金事故リスク軽減

（3）ＩＣＴ（＊1）機器の導入等による効率性の向上

① 介護員コールシステム（＊2）導入（38,500 千円）

呼出しとインカム（＊3）をスマホに集約し業務負担を軽減（玉川ホーム中央棟）。

（＊1）Information and Communication Technology の略。情報処理および通信技術の総称。

（＊2）利用者が職員を呼び出すことのできる機器のこと。

（＊3）インターコミュニケーションシステムの略。手を使わず相互通話ができるタイプの無線機のこと。

② 最新の介護保険ソフト等先進機器情報の研究

来年度の導入を見据え、展示会に職員を派遣し、画面の見やすさや操作のし易さなど、より使い易く業務の効率化と負担軽減が期待できる商品の研究を進めた。

2．職員育成研修計画に基づく事業（1,677 千円・延 285 名）

（1）人材育成プランによる研修（1,024 千円・延 224 名）

① 新採用職員ガイダンス 受講者 11 名 令和６年４月１日

受講者８名 令和６年 10 月１日

② 新採用職員研修（3 カ月間・６回）受講者 10 名 令和６年４月 24 日～7 月 17 日

③ 中核職員研修（6 カ月間・12 回）受講者８名（指名研修）

令和６年８月 21 日～令和７年１月 29 日

④ 特別講演会「看取りを担う職員へのグリーフケア」

受講者 81 名（全職員） 令和６年 11 月５日

⑤ 虐待防止研修（2 回）受講者 延 106 名（全職員）令和６年 10 月９日、23 日

※②～⑤は専門の外部講師を招聘し開催。

（2）外部専門研修等派遣（653 千円・延 61 名）41 講座うちオンライン 11 講座

① サービスの質向上

・ユニットリーダー実地研修（栃木県塩谷郡）１名 令和６年６月 18～21 日

・喀痰吸引等基本研修（二本松市）１名 令和６年６月 19 日～8 月 23 日

・介護福祉士実習指導者講習（郡山市）２名 令和６年７月 6～7 日、20～21 日

・排泄ケア研修（二本松市）１名 令和６年８月２日～3 日、9 月 27 日～28 日

・社会福祉施設ボランティア担当者研修（郡山市）１名 令和６年８月８日

・病院勤務以外の看護師認知症対応力向上研修（郡山市）１名 令和６年８月 20 日

・喀痰吸引等研修教員講習会（山形市）１名 令和６年８月 31 日

・排泄ケアセミナー（オンライン）１名 令和６年 10 月 24 日

・介護職虐待防止研修会（郡山市）２名 令和７年１月 16 日

② 感染症対策

・高齢者入所施設向け感染症対策研修（郡山市）２名 令和６年７月 16 日

・食品衛生責任者実務講習会（郡山市）３名 令和６年 10 月８日

③ 管理運営・職場環境改善

・介護経営セミナー（郡山）１名 令和６年７月18日

・精神、発達障害者しごとサポーター養成講座（郡山）１名 令和６年７月18日

・外国人雇用セミナー1名（オンライン） 令和６年９月25日

・第３次産業における労働災害防止研修会（郡山）１名 令和６年10月18日

・雇用管理責任者講習会１名（福島市） 令和６年10月31日、12月10日

・多様な人材を確保するためのセミナー2名（オンライン） 令和６年11月20日

・管理職のためのOJT運用研修２名（オンライン） 令和７年２月13～14日

・東京ケアウィーク`25（東京都）４名 令和７年２月5～6日＊介護テクノロジー展示会

④ 災害リスクマネジメント

・介護施設等防災リーダー養成研修会１名（オンライン） 令和６年５月29日

・災害リスク対策研修会（郡山）２名 令和６年６月21日

・福祉避難所設置運営マニュアル研修会（郡山）２名 令和６年８月23日

・災害時施設相互応援協定に関する研修会（郡山）２名 令和６年９月24日

２．太田福祉記念会地域貢献事業

地域密着支援事業 除雪ボランティア（13年目）

令和６年12月28日 参加職員６名 湖南地区２世帯

令和７年２月15日 参加職員５名 熱海地区５世帯

※生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業は、感染症予防のため中止。

［2］本部事業

１．法人運営の安定化

（1）管理職候補者の計画的育成及び中間管理職の適正配置

① 社会福祉施設長資格認定講習に１名派遣

② グリーンライフ小磯他２事業所に副所長（兼任）の配置を決定（令和７年度）

（2）公的助成制度の積極的活用（計41,017千円）

［福島県］社会福祉施設等物価高騰対策事業支援金5,745千円

新型コロナ流行下のサービス提供体制確保事業補助金3,989千円

介護職員処遇改善支援補助金3,557千円

能登半島地震介護職員派遣費用363千円

地域医療介護総合確保基金事業補助金626千円

［郡山市］ケアハウス事務費補助金 26,012 千円
結核予防事業費補助金 333 千円
介護保険の中山間・特別地域における訪問介護等利用料助成金 35 千円
［独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構］障害者雇用調整金 348 千円
［東北電力］節電チャレンジ達成奨励金 9 千円

（3）感染症対策

新型コロナウイルス感染症は第５類に移行したが、勤務時のマスク着用や体調不良時における出勤自粛要請、制限付き面会を継続するなど、各種感染症から利用者と職員を守るための対策を継続実施した。

（4）環境美化

熱海町内所在施設周辺のクリーンアップ大作戦（10 年目）参加職員 33 名

２．有能人材の確保・育成

①募集広報担当職員（介護職員２名）による募集活動

・福祉の職場合同就職説明会参加（2 回）　・福祉のしごと相談会参加（1 回）
・ハローワーク就職説明会（1 回）　・ハローワーク求人個別相談会（1 回）
・教育機関企業説明会（1 校）

② 募集広報

・ハローワーク　・法人ホームページ掲載　・職員へ人材紹介の協力要請
・求人広告掲載２件（広告料 956 千円）

③ ＳＮＳでの情報発信

令和６年 10 月から公式Ｘ（旧 Twitter）に初投稿後、Instagram や TikTok の運用を開始。各事業所のサービス内容やイベント情報などを毎週水曜日に発信。

④ 高齢層職員の就業意欲向上

従来の 58 歳昇給停止制度を廃止し、定年（65 歳）まで定期昇給を継続する制度とした。

⑤ 正職員採用試験

看護師２名、介護員８名、調理員３名　計 13 名採用（うち内定者１を含む）

⑥ 介護職（正職員）の離職率

離職者 10 名・10.4％（前年度７名・6.4％）　※全国 13.1％

［3］特別養護老人ホーム

1．利用者に質の高い介護サービスを提供

（1）特別感染症対策事業（共通）

・施設内ゾーニング（＊4）シミュレーション

玉川ホーム ９回 延 73 名参加　あたみホーム 10 回 延 70 名参加

（＊4）感染症の病原体によって汚染されている区域と、汚染されていない区域に区分けすること。病原体に汚染された人や物品の動きを制限でき、感染拡大の防止につながる。

・長期入所者入所時抗原検査実施 玉川ホーム ０名　あたみホーム 24 名

・短期利用者入所時抗原検査実施　玉川ホーム延 548 名　あたみホーム 590 名

・制限付き直接面会　玉川ホーム 延 932 回　あたみホーム 延 626 回

・テレビ電話による面会　玉川ホーム 延 166 回　あたみホーム 延 40 回

・新型コロナワクチン定期接種（通算８回目）

玉川ホーム 職員８名、利用者 131 名　あたみホーム 職員２名、利用者 75 名

（2）国の科学的介護情報システム（通称 LIFE）の活用（共通）

・科学的介護推進体制加算算定

玉川ホーム 170.1 名/月（前年度 168.5 名/月）加算額合計 1,021 千円

あたみホーム 98.3 名/月（前年度 101.0 名/月）加算額合計 590 千円

・上位の個別機能訓練加算算定

玉川ホーム 170.1 名/月（前年度 168.5 名/月）加算額合計 408 千円

あたみホーム 98.3 名/月（前年度 101.0 名/月）加算額合計 236 千円

・褥瘡マネジメント加算算定

玉川ホーム 157.7 名/月（前年度 151.7 名/月）加算額合計 246 千円

あたみホーム 98.3 名/月（前年度 101.0 名/月）加算額合計 135 千円

（3）食事の経口摂取維持への支援（共通）

・経口維持加算算定

玉川ホーム 45.4 名/月（前年度 44.5 名/月）加算額合計 2,180 千円

あたみホーム 19.9 名/月（前年度 27.2 名/月）加算額合計 956 千円

・太田熱海病院歯科医師等による口腔衛生管理に係る技術的指導

玉川ホーム ２回 16 名参加　あたみホーム ２回 13 名参加

（4）看取り介護体制の充実・強化（玉川ホーム）

・看取り介護加算

玉川ホーム 11 名（面会延 199 回） 加算額合計 621 千円（前年度 17 件）

あたみホーム３名（面会延７回） 加算額合計 169 千円（前年度０件）

（5）個別機能回復訓練（ショートステイ）の充実（あたみホーム）

・個別機能訓練加算算定 28.7 名/月（前年度 26.9/月）加算額合計 1,048 千円

（6）身体拘束廃止への取り組み（共通）

・身体拘束廃止人数　玉川ホーム 15 名中６名　あたみホーム ９名中６名

（7）施設内事故再発防止への取り組み（共通）

・郡山市介護保険課への事故報告書提出件数

玉川ホーム６件（うち骨折４件）　あたみホーム４件（うち骨折３件）

（8）防火安全対策の充実（玉川ホーム）

・第 51 回郡山地区自衛消防操法大会（令和６年 10 月３日）消火器の部優勝

（9）地域の元気な高齢者などを「介護助手」として採用（あたみホーム）

・清掃や配膳、下膳など介護の周辺業務を補完するため「介護助手」を２名採用

２．健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	長期入所者数（稼働率） ※下段は６年度当初目標	短期入所者数（稼働率） ※下段は６年度当初目標	介護	介護予防
玉川ホーム 【定員 長期 170 名 短期 20 名】	162.8 名/日（95.7%） 163.5 名/日（96.1%）	17.6 名/日（88.0%） 17.0 名/日（85.0%）	17.6 名/日 17.0 名/日	0.0 名/日 0.0 名/日
あたみホーム 【定員 長期 100 名 短期 21 名】	97.4 名/日（97.4%） 96.5 名/日（96.5%）	17.7 名/日（84.2%） 17.0 名/日（80.9%）	17.6 名/日 16.6 名/日	0.1 名/日 0.4 名/日
〖令和６年８月１日からユニット型６床休止〗 【定員 長期 94 名 短期 21 名】	90.6 名/日（96.3%） 90.9 名/日（96.7%）			

（1）稼働率の向上（共通）

・玉川、あたみ両ホーム合同入所検討委員会 ４回

（2）ＩＴ機器を活用した業務の効率化（共通）

・介護員コールシステム（＊2）操作伝達講習　玉川ホーム（中央棟）　延４回

・インカム（＊3）操作伝達講習　玉川ホーム 延８回　あたみホーム 延９回

（3）電気代高騰に伴う持込み家電（テレビ、電気毛布）電気料の適正請求（共通）

玉川ホーム 合計 85 千円　あたみホーム 合計 24 千円

（4）在宅高齢者の緊急時の宿泊ニーズに対応（あたみホーム）

・緊急短期入所受入加算 ３名（前年度１件）加算額合計 22 千円

３．職員の育成

（1）新採用職員教育の充実（共通）

・がんばっぺ職場研修　介護職にプリセプター（＊5）を配置（1 か月～12 か月間）

玉川ホーム 教育対象職員５名　あたみホーム 教育対象職員４名

（＊5）先輩職員が新人職員をマンツーマンで指導やフォローをすること。

（2）福島県喀痰吸引等実地研修（共通）

・介護職員による痰の吸引等研修事業を実施。（令和６年 10 月～令和７年１月）

玉川ホーム１名受講　あたみホーム１名受講

（3）内部研修会の充実（共通）

・第 21 回法人全体研究発表会　令和７年２月 28 日（オンライン開催）

［4］ケアハウス

１．健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は６年度当初目標	１人部屋	２人部屋
グリーンライフ小磯 【定員 30 名】	25.4 名/日（84.6%） 28.0 名/日（93.3%）	23.0 名/日 26.0 名/日	2.4 名/日 2.0 名/日

（1）新規入居者の確保及び施設の PR

・新規入居者数７名、退居者数５名（前年度新規入居者数４名、退居者数４名）

・近隣市町村地域包括支援センターPR 活動（空床情報提供、パンフレット配布）
20 か所実施

（2）介護予防の推進

・運動器訓練等を行う元気クラブ （10 月～3 月）12 回
延 114 名（1 回あたり平均 9.5 名）

・入居者の希望を取り入れた行事やグループ活動の実施
ショッピング 13 回 延 20 名

２．入居者の生活環境改善

（1）感染防止対策

・施設内ゾーニング（＊4）シミュレーション　１回 ４名参加

・入居時及び感染者発生時の抗原検査実施　延 37 名

・新型コロナワクチン予防接種　入居者 15 名
インフルエンザ予防接種　職員 11 名　入居者 15 名

・果物や日用品等の購入機会を提供　移動販売車招聘 36 回　延 429 名利用

（2）入居者懇談会 「希望調査」２回　「ケアハウスでの生活について」１回

（3）サービス担当者会議　計画どおり開催　26 回（入居者１人あたり１回）

［5］在宅の介護・支援サービス

Ⅰ．デイサービス

１．利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

（1）特別感染症対策事業（共通）

・新型コロナウイルス感染症防止研修会
太田デイサービス ２回 延 14 名　　太田玉川デイサービス ３回 延 22 名
太田小磯デイサービス ５回 延 43 名（利用者含む・手洗いチェッカー使用）

（2）自立支援と認知症進行防止（太田デイサービス）

・手足の可動域を広げるための太極拳体操 309 日実施 延 4,351 名参加

・職員による体を動かしながら楽しめるレクリエーションの開発
コロコロカーリングゲームなど 299 日実施 延 4,549 名参加

（3）自立支援を意識した取り組み（太田デイサービス）

・朝食提供による生活支援　実利用者４名 延 526 食

・レスパイトケア（＊6）を目的とした利用回数増　週１回増４名

（＊6）介護を行っている介護者に、一時的な休息や息抜きを行う支援のこと。

（4）自立支援と認知症進行防止（太田玉川デイサービス）

脳の活性化を目的とした活動	生活機能維持向上を目的とした活動
貼り絵の制作 28 回 季節の飾り作り 46 回 クイズ、塗り絵、計算ドリル等 208 回	上下肢及び口腔体操（集団） 257 回 レクリエーション活動 245 回 個別の機能回復訓練 延 2,105 名

・取り組みをとおして ADL の状態の維持、向上が見られた利用者 51 名中 49 名

（維持 45 名・向上４名）

（5）認知機能の低下防止（太田小磯デイサービス）

・昔の思い出などを語り合う「回想法（※7）」を取り入れたレクリエーション

14 回　実利用者 15 名

（※7）昔の懐かしい写真や音楽、昔使っていた馴染み深い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語り合う一種の心理療法。認知症の方へのアプローチとしても有効とされている。

・季節に合わせた工作レクリエーションで巧緻性の向上と認知機能の低下を防止

６回　実利用者 15 名

2．健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は６年度当初目標		実利用者数	
			介護	総合事業		うち新規
太田デイ サービスセンター 【定員 30 名】	309 日	14.8 名/日 23.5 名/日	12.7 名/日 19.2 名/日	2.1 名/日 4.3 名/日	61 名	12 名
太田玉川デイ サービスセンター 【定員 25 名】	257 日	21.4 名/日 23.5 名/日	18.6 名/日 18.6 名/日	2.8 名/日 4.9 名/日	73 名	13 名
太田小磯デイ サービスセンター 【定員 18 名】	257 日	15.1 名/日 16.3 名/日	13.1 名/日 13.4 名/日	2.0 名/日 2.9 名/日	62 名	25 名

Ⅱ．ホームヘルプサービス

健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数	※下段は６年度当初目標				実利用者数	
		熱　海		小磯分室			
		介護	総合事業	介護	総合事業		うち新規
太田訪問 介護事業所	10.0 名/日 14.0 名/日	7.2 名/日 9.0 名/日	2.8 名/日 5.0 名/日	0.0 名/日 0.0 名/日	0.0 名/日 0.0 名/日	43 名	14 名

Ⅲ．居宅介護支援サービス

質の高いケアプラン作成

（1）質の高いケアプランの作成

・退院調整によるサービス計画作成 35 件（前年度 55 件）

（2）健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
太田指定居宅介護支援事業所	138.1 名/月（当初目標 160 名/月）

・退院退所加算 35 件（前年度 51 件）加算額合計 165 千円

・入院時情報連携加算 61 件（前年度 57 件）加算額合計 145 千円

・ターミナルケアマネジメント加算 1 件（前年度 4 件）加算額合計 4 千円

・通院時情報連携加算 6 件（前年度 6 件）加算額合計 30 千円

・市町村等から依頼された介護認定調査 47 件（前年度 78 件）委託料合計 196 千円

Ⅳ．地域包括支援サービス及び介護予防支援サービス

1．地域に根ざした包括的なサービスを提供

（1）地域高齢者の介護予防推進

・介護予防教室 14 回開催（1 月～3 月）参加者 198 名（前年度 148 名）

舟津地区 9 回開催　参加者 131 名

福良地区 2 回開催　参加者 20 名

住民主体の通いの場 3 回　参加者 47 名

（2）認知症のある方やそのご家族が、なんでも相談できる場を提供

・小磯カフェ「まざっせ」10 回開催（4 月～2 月）参加者 75 名（前年度 51 名）

音楽体操、茶話会、脳トレーニング、健康講座、健康体操等実施

（3）若い世代への福祉教育　実績 2 回

・認知症サポーター養成講座（7 月）湖南高校 1・2 年生 34 名

（4）地域包括ケアシステムへの対応

・湖南町の地域ケア会議（個別会議）1 回

2．健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	72.3 名/月（当初目標 90 名/月）